

官報

號外 昭和十三年三月二十四日

○第七十三回貴族院議事速記録第二十九號

帝國議會

昭和十三年三月二十三日(水曜日)午前十時
十七分開議

議事日程 第二十九號

昭和十三年三月二十三日

午前十時開議

第一 入營者職業保障法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 農業保險法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第三 東洋拓殖株式會社法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 職業紹介法改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 飼料配給統制法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 支那事變ニ際シ召集中ノ者ノ選舉權及被選舉權等ニ關スル法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマス

〔右橋書記官朗讀〕

昨二十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

陸上交通事業調整法案

工作機械製造事業法案

兵役ノ義務ナカリシ者等ニシテ支那事變ニ於テ陸軍部隊ニ編入セラレタルモノノ身分取扱ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

昭和十一年勅令第二十一號廢止法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

東洋拓殖株式會社法中改正法律案可決報告書

職業紹介法改正法律案可決報告書

飼料配給統制法案可決報告書

支那事變ニ際シ召集中ノ者ノ選舉權及被選舉權等ニ關スル法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

入營者職業保障法中改正法律案

農業保險法案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

商法中改正法律案

商法中改正法律施行法案

有限會社法案

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案

商業組合法中改正法律案

有價證券業取締法案

市街地建築物法中改正法律案

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、入營者職業保障法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、木戸厚生大臣

〔左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

入營者職業保障法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十三年三月二十二日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

入營者職業保障法中改正法律案

入營者職業保障法中左ノ通改正ス

第三條中「勞務及給與ハ」ノ下ニ「少クトモ」ヲ加フ

第五條中「五十人ヲ三十人」ニ改ム

第五條ノ二 職業紹介事業ヲ行フ行政廳

(船員職業紹介法第三條第二項ノ規定ニ依リ船員職業紹介事業ヲ行フ者ヲ含ム)ハ退營者ニシテ原職ナキモノ又ハ

原職ニ復歸スルコト困難ナリト認ムル

モノノ職業紹介ニ付テハ被傭者ヲ求メントスル者ニ對シ其ノ被傭者タルニ適スト認ムル退營者ヲ優先シテ雇傭スルコトヲ懲慥スルコトヲ得

前項ノ規定ハ退營者ガ退營シタル日ヨリ三月ヲ經過シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第六條中「前四條」ヲ「第二條乃至第五條」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(侯爵木戸幸一君) 只今議題トナリマシタ入營者職業保障法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、申ス迄モナク本法ハ、入營ヲ命ゼラレタル者、又ハ入營ヲ命ゼラル、コトアルベキ者ニ對シ、其ノ故ヲ以テ就職ニ付テ不利益ナル取扱ヲ受ケシムルコトナク、且退營後ノ再雇傭ニ付後顧ノ憂ナカラシムル爲ニ、昭和六年四月一日公布セラレ、同年十一月一日ヨリ施行セラレタノデアリマス、爾來約七年ヲ經過シ、其ノ間ニ於キマシテ本法ノ趣旨ハ漸次普及セラレ、相當ノ效果ヲ擧ゲテ參ツタノデアリマスガ、現下ノ情勢ニ鑑ミマスレバ尙不十分ナル點ガアリ、殊ニ今次ノ支那事變ニ伴フ召集解除者ノ就職、近ク實施セラレマス在營年限延長等ニ對處スルニハ、現行法ニ改正ヲ加フルノ必要アリト認メラレタルデアリマス、仍テ茲ニ本改正法律案ヲ提出スルニ至ツタノデアリマス、本改正法律案ニ於キマシテハ、第一ニ、再雇

官報號外

昭和十三年三月二十四日

貴族院議事速記録第二十九號

議長ノ報告

入營者職業保障法中改正法律案 第一讀會

備後ノ處遇ニ付テノ規定ノ趣旨ヲ明確ニシ、第二ハ、再雇傭ニ關スル規定ノ適用範圍ヲ擴張致シマシテ、雇傭者ガ常時三十人以上ノ被傭者ヲ使用スル場合ニ適用スルコトニ改メ、第三ニ、再雇傭ニ關スル規定ノ適用ヲ受ケザル退傭者ノ就職保護ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、以テ退傭者ノ職業保護ニ遺憾ナキヲ期セムトスルモノデアリマス、何卒御審議ノ上、速カニ御協賛アラムコトヲ望ミマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上リマシタ入傭者職業保障法中改正法律案ハ、社會事業法案外一件ニ關聯致シマスルガ故ニ、其ノ同一委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、農業保險法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、有馬農林大臣

農業保險法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十三年三月二十二日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

農業保險法案

第一章 農業保險

第一條 市農會又ハ町村農會ハ命令ノ定

ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケ風水害其ノ他ノ災害ニ因リ會員ノ被ル農作物ノ收穫上ノ損失及小作料ノ取得上ノ損失ニ付共濟金ノ交付ヲ爲ス事業(共濟事業)ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ共濟事業ヲ行フ市農會又ハ町村農會ハ之ニ因リ會員ニ對シテ負フ共濟責任ニ付相互保險ヲ爲ス目的ヲ以テ農業保險組合ヲ設立スルコトヲ得

共濟責任ノ保險ニ付セラルベキ共濟ノ目的タル農作物及小作料、共濟事故並ニ共濟責任期間ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 養蠶業ニ關スル共濟施設ヲ行フ養蠶實行組合ニシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ前條第二項ノ規定ニ依ル農業保險組合ノ設立者又ハ組合員タルコトヲ得

第三條 農業保險組合ハ法人トス

第四條 農業保險組合ノ區域ハ郡又ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得
前項ノ規定ニ於テ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

第五條 農業保險組合ハ其ノ名稱中ニ農

業保險組合ナル文字ヲ用フベシ

農業保險組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ農業保險組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第六條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ事實ノ生ジタル後三週間以内ニ之ヲ各事務所ノ所在地ニ於テ登記スベシ
登記スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

本法ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第七條 農業保險組合ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セズ

第八條 農業保險組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第九條 本法ニ依ル農業保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第十條 農業保險組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ區域ヲ定メ其ノ區域内ニ於テ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ理事及監事ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ創立總會ノ決議ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 農業保險組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 區域

四 事務所ノ所在地

五 保險スベキ共濟責任

六 保險料率

七 準備金ノ積立及管理ノ方法

八 共濟基金ニ關スル規定

九 剩餘金處分及不足金填補ノ方法

十 組合員タル資格ニ關スル規定

十一 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

定

十二 事業執行ニ關スル規定

十三 役員ニ關スル規定

十四 組合ガ公告ヲ爲ス方法

十五 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第十二條 主務大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合ノ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ニ組合ヲ設立スベキコトヲ命ジ又ハ組合ノ區域内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ組合ノ組合員タルシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル所ニ依リ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 農業保險組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前條ノ規定ニ依ル組合ノ設立アリタルトキハ其ノ組合ノ區域内ニ於テ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ハ其ノ組合ノ組合員トス

第十四條 農業保險組合ノ設立アリタルトキハ設立ノ登記ヲ爲スベシ
登記スベキ事項左ノ如シ

一 第十一條第一號乃至第三號、第十四號及第十五號ニ掲ゲタル事項
二 事務所
三 成立ノ年月日
四 理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第十五條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合ノ行フ保險ニ付セラルベキ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ノ總テニ付共濟ヲ行フコトヲ要ス

第十六條 農業保險組合ノ組合員タル市農會又ハ町村農會及養蠶實行組合ハ其ノ地區ガ重複スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ同一地區内ノ同一ノ共濟ノ目的ニ付重複シテ組合ノ保險ニ付スルコトヲ得ズ

第十七條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付組織員ニ對シテ負フ共濟責任ノ總テヲ保險ニ付スベシ
組合ハ組合員ニ對シ正當ノ事由ナクシテ保險ノ引受ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十八條 農業保險組合ノ組合員ハ定額ノ保險料ヲ釀出スルコトヲ要ス
保險料及保險金額ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 農業保險組合ハ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟ノ目的タル小作料ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ割合以上ノ被害アリタル場合ニ限り其ノ被害程度ニ應ジテ定メタル保險金ヲ組合員ニ對シ支拂フモノトス

第二十條 農業保險組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ支拂ニ不足ヲ生ズルトキハ保險金額ヲ削減スルコトヲ得

第二十一條 農業保險組合ノ組合員ハ組合ニ釀出スベキ保險料ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十二條 農業保險組合ノ組合員保險料ノ拂込ヲ遲滞シタルトキハ組合ハ其ノ遲滞期間中ニ生ジタル事故ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ノ責ヲ免ルルコトヲ得

令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ノ責ヲ免ルルコトヲ得

第二十四條 農業保險組合ノ組合員ハ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟ノ目的タル小作料ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付通常爲スベキ肥培管理其ノ他損害防止ニ付指導ヲ爲スベシ

組合員惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ組合ノ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ノ責ヲ免ルルコトヲ得

第二十五條 農業保險組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ損害ノ防止ニ關シ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 農業保險組合ハ組合員ヲシテ損害ノ防止ノ爲ニ必要ナル處置ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合員ノ負擔シタル費用ハ組合ノ負擔トス

組合員前項ノ規定ニ依ル組合ノ指示ニ從ハザルトキハ組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ノ責ヲ免ルルコトヲ得

第二十七條 農業保險組合ハ損害ノ防止又ハ損害ノ評價ノ爲ニ必要アルトキハ何時ニテモ組合員ノ組織員ノ耕作スル土地ニ立入り又ハ其ノ耕作及收穫ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第二十八條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ヲ以テ定ムル事故發生シタルトキハ

遲滞ナク其ノ旨ヲ組合ニ通知スベシ
組合員ハ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟ノ目的タル小作料ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付共濟金ノ支拂ヲ爲スベキ損害アリト認メタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滞ナク其ノ旨ヲ組合ニ通知スベシ

組合員前二項ノ規定ニ違反シタルトキハ組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ノ責ヲ免ルルコトヲ得

第二十九條 農業保險組合ノ組合員ノ支拂フ共濟金ノ額ハ組合ヨリ支拂ハレタル保險金ノ額ヲ下ラザルコトヲ要ス

第三十條 農業保險組合ノ組合員ハ第二十二條、第二十三條第二項、第二十四條第二項、第二十六條第二項又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ受ケザルトキト雖モ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ組織員ノ責ニ歸スベキ事由ナキ限り共濟金ヲ支拂フコトヲ要ス

第三十一條 耕地ノ所有者ガ農業保險組合ノ組合員ヨリ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受クルモ之ニ

他人ノ土地ニ付耕作ヲ營ム者ガ組合員

ヨリ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受クルモ之ニ

因リ其ノ土地ニ付權利ヲ有スル者トノ

間ノ權利義務ニ影響ヲ及ボスコトナシ
第三十二條 行政官廳必要アリト認ムル
トキハ農業保險組合ヲシテ組合員ノ第

一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ

關スル共濟金支拂ノ義務ニ代ヘ組合員
ノ組織員ニ對シ保險金ヲ支拂ハシムル
コトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合ハ組合
員ニ對スル保險金支拂ノ義務ヲ免ル

第三十三條 農業保險組合ノ組合員ガ第
一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ
付支拂フ共濟金ニ關シテハ民事訴訟ヲ
提起スルコトヲ得

第三十四條 農業保險組合ヨリ保險金ノ
支拂ヲ受クル權利及組合ノ組合員ヨリ
共濟金ノ支拂ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡
シ又ハ差押フルコトヲ得ズ

第三十五條 商法第三百九十七條、第三
百九十九條、第四百條、第四百三條第
一項及第四百十七條ノ規定ハ農業保險
ニ之ヲ準用ス

第九條及商法第四百十七條ノ規定ハ農
業保險組合ノ組合員ガ第一條第三項ノ
共濟ノ目的及共濟事故ニ關シ共濟事業
又ハ共濟施設ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 農業保險組合ハ保險事業ヲ
行フノ外命令ノ定ムル所ニ依リ總會ノ
議決ヲ經テ行政官廳ノ認可ヲ受ケ共濟
基金ヲ積立テ組合員ニ對シ共濟金ノ交
付ヲ爲ス事業ヲ行フコトヲ得

第九條及第三十四條並ニ商法第四百十

七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テハ組合員ノ組合ヨ
リ交付セラルル共濟金ヲ組織員ニ交付
スル爲之ニ關スル規程ヲ設ケ行政官廳
ノ認可ヲ受クベシ

第九條、第二十九條及第三十三條並ニ
商法第四百十七條ノ規定ハ前項ノ規程
ニ基キ組合員ガ共濟金ノ交付ヲ爲ス場
合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 農業保險組合ニハ理事及監
事ヲ置ク

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員タル法
人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ設立
當時ノ理事及監事ハ第三十八條ノ場合
ヲ除クノ外創立總會ニ於テ組合員タル
ベキ資格ヲ有スル法人ノ役員ノ中ヨリ
之ヲ選任スベシ

特別ノ事由アルトキハ組合ハ行政官廳
ノ認可ヲ受ケ前項ニ該當セザル者ヨリ
理事又ハ監事ヲ選任スルコトヲ得

第三十八條 主務大臣第十二條第二項ノ
規定ニ依リ定款ヲ作成シタルトキハ農
業保險組合ノ理事及監事ヲ命ズ

第三十九條 理事ハ定款及總會ノ決議錄
ヲ各事務所ニ備置キ且命令ノ定ムル所
ニ依リ組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備
置クベシ

第四十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一
週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業
報告書、損益計算書及剩餘金處分案又
ハ不足金填補案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ

主タル事務所ニ備フベシ

第四十一條 農業保險組合ノ組合員及組
合ノ債權者ハ前二條ノ書類ノ閲覧ヲ求
ムルコトヲ得

第四十二條 農業保險組合ト理事トノ利
益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代
表ス

理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行
フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ
得ズ

理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官
廳ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得

第四十三條 農業保險組合ノ組合員ハ總
會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス但シ定
款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付議決權總
數ノ十分ノ一ヲ超エザル範圍内ニ於テ
二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ
得

第四十四條 農業保險組合ノ組合員ハ書
面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコト
ヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做
ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ
提出スベシ

第四十五條 總會ノ招集ノ手續又ハ決議
ノ方法ガ法令又ハ定款ノ規定ニ違反ス
ルトキハ農業保險組合ノ組合員ハ決議ノ
日ヨリ一月以内ニ其ノ決議ノ無効ノ宣
告ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

六十三條ノ四ノ規定ハ前項ノ場合ニ之
ヲ準用ス

第四十六條 農業保險組合ノ事業年度ハ
一年トス

第四十七條 農業保險組合ハ每事業年度
ノ終ニ於テ存スル農業保險ニ付命令ノ
定ムル所ニ依リ責任準備金ヲ積立ツベ
シ

第四十八條 農業保險組合ハ不足金ノ填
補ニ備フル爲每事業年度ノ剩餘金中ヨ
リ命令ノ定ムル所ニ依リ準備金ヲ積立
ツベシ

第四十九條 農業保險組合ノ組合員命令
ノ定ムル所ニ依リ一定年間自己ノ責ニ
歸スベキ事由ナクシテ組合ヨリ保險金
ノ支拂ヲ受ケザルトキ又ハ支拂ヲ受ケ
タル保險金ガ一定額ニ滿タザルトキハ
組合ハ組合員ニ對シ保險料ノ一部ニ相
當スル金額ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

商法第四百十七條ノ規定ハ前項ノ場合
ニ之ヲ準用ス

第五十條 第三十六條第一項ノ共濟基金
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合
ノ每事業年度ノ剩餘金ノ一部及組合員
ヨリ徵收シタル共濟掛金ヲ以テ之ニ充
ツ

前項ノ共濟基金ハ共濟金又ハ前條ノ拂
戻金ノ支拂共ノ他命令ヲ以テ定ムル場
合ヲ除クノ外之ヲ他ノ費用ニ充ツルコ
トヲ得ズ

第五十一條 農業保險組合ハ組合員タル

資格ヲ有スル者ニ對シ正當ノ事由ナクシテ組合員ト爲ルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

第五十二條 農業保險組合ノ組合員タル法人ニ付合併又ハ分割アリタルトキハ合併後存続スル者ニシテ組合員タラザルモノ又ハ合併若ハ分割ニ因リテ設立シタル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ組合ニ加入シタルモノト看做ス

第五十三條 地區ノ重複スル市農會又ハ町村農會及養蠶實行組合ハ協議ノ上主務大臣ノ認可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一方ガ農業保險及第三十六條第一項ノ規定ニ依ル事業ニ關シテ有スル權利義務ヲ承繼スルコトヲ得

第五十四條 農業保險組合ノ組合員ハ左ノ事由ニ因リテ組合ヨリ脱退ス

一 第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ關スル共濟事業又ハ共濟施設ノ廢止

二 解散又ハ合併若ハ分割ニ因ル消滅

第五十五條 農業保險組合ノ組合員ハ組合ヲ脱退シタルトキト雖モ脱退ノ日ノ屬スル事業年度ノ保險金額ノ削減ニ關シテハ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ズ

第五十六條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合ノ組合員ノ支拂フベキ保險料ノ一部ヲ負擔ス

第五十七條 行政官廳ハ農業保險組合ニ對シ組合ノ事業又ハ財産ニ關スル報告ヲ爲サシメ、組合ノ事業又ハ財産ノ狀

況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 農業保險組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲若ハ決議ガ法令若ハ定款ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ行政官廳ハ決議ヲ取消シ、理事若ハ監事ヲ解任シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第五十九條 農業保險組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 組合ノ合併

四 組合ノ破産

五 行政官廳ノ解散ノ命令

解散及合併ノ決議ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 農業保險組合ガ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間以內ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルベシ

組合ハ前項ノ期間內ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラバ一定期間內ニ之ヲ述ベベキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スベシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

債權者前項ノ期間內ニ合併ニ對シテ異議ヲ述ベザリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者ガ異議ヲ述ベタルトキハ組合ハ合併前之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スベシ

第二項又ハ前項ノ規定ニ違反シテ爲シタル合併ハ之ヲ無効トス

第六十一條 農業保險組合ガ解散シタルトキハ合併ノ場合ヲ除クノ外保險關係ハ終了ス

前項ノ場合ニ於テハ組合ハ未ダ經過セザル期間ニ對スル保險料ヲ拂戻スベシ

第六十二條 農業保險組合ガ解散シタルトキハ合併及破産ニ因ル場合ヲ除クノ外清算人ノ氏名及住所並ニ解散ノ原因及年月日ノ登記ヲ爲スベシ但シ行政官廳ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ登記ヲ爲スコトヲ要セズ

前項ノ規定ニ依リ登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第六十三條 行政官廳農業保險組合ノ解散ヲ命ジタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ登記ヲ囑託スベシ

登記所ハ前項ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スベシ

第六十四條 設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ定款並ニ理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

合併ニ因ル設立ノ登記ニハ前項ノ書面ノ外合併ニ關スル總會ノ決議錄ヲ添附

スベシ

第六十五條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事又ハ清算人ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ但シ合併ニ因ル變更ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セズ

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ總會ノ決議錄及第六十條ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第六十七條 民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第五十九條、第六十條、第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條及第七十三條乃至第八十三條、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三十七條ノ二、第二百二十二條、第二百三十六條乃至第三百三十八條、第四百四十二條乃至第四百五十一條ノ六、第四百五十四條乃至第四百五十七條、第四百七十五條、第四百七十六條、第四百七十八條及第四百九

十五條ノ二並ニ産業組合法第二十三條、第二十七條、第二十八條、第三十一條、第三十三條、第三十四條ノ二第二項、第三十六條、第三十九條、第六十五條、第六十六條第一項、第六十七條、第七十條、第七十四條ノ二第一項、第九十六條、第九十七條及第四百條ノ規定ハ農業保險組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十五條第三項、第四十八條第一項及第七十七條ノ規定中一週間トアルハ三週間トシ産業組合法第二十八條（同法第三十九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）中四分ノ三トアルハ三分ノ二トシ同法第三十九條及第六十五條中地方長官トアルハ行政官廳トス

第二章 農業再保險

第六十八條 本法ニ依ル農業保險ノ再保險事業ハ農業保險組合會及政府之ヲ行フ

第六十九條 農業保險組合ハ農業保險組合聯合會ヲ設立スベシ

聯合會ノ區域ハ道府縣ノ區域ニ依ル
第七十條 農業保險組合ガ農業保險ノ引受ヲ爲シタルトキハ之ニ因リテ農業保險組合聯合會ト組合トノ間ニ再保險關係成立スルモノトス

聯合會ト組合トノ間ニ再保險關係成立シタルトキハ之ニ因リテ政府ト聯合會トノ間ニ再保險關係成立スルモノトス
第七十一條 農業再保險ノ再保險金額ハ

農業保險組合聯合會ノ行フ再保險ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ元受保險金額ノ一定割合ニ相當スル金額トシ政府ノ行フ再保險ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ聯合會ノ總再保險金額中異常災害ニ對應スル金額トス
再保險料ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合聯合會ノ農業保險組合ニ對スル支拂再保險金ガ聯合會ノ總再保險金額中ノ一定額ヲ超過シタル場合ニ於テ再保險金ヲ支拂フモノトス

第七十三條 農業保險組合ハ農業保險ノ引受ヲ爲シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合聯合會ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スベシ
聯合會ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スベシ

第七十四條 左ノ場合ニ於テハ農業保險組合聯合會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ再保險金ノ全部又ハ一部ノ支拂ノ責ニ任ゼズ

一 農業保險組合ガ法令又ハ定款ニ違反シテ保險金ヲ支拂ヒタルトキ
二 組合ガ損害額ヲ不當ニ認定シテ保險金ヲ支拂ヒタルトキ
三 組合ガ不正ノ目的ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ通知ヲ怠リ又ハ不實ノ通知

ヲ爲シタルトキ
前項ノ規定ハ政府ノ行フ農業再保險ニ之ヲ準用ス

第七十五條 農業保險組合聯合會成立シタルトキハ其ノ區域内ノ農業保險組合ハ其ノ聯合會ノ會員トス

第七十六條 農業保險組合ハ解散ニ因リ農業保險組合聯合會ヨリ脱退ス

第七十七條 農業保險組合ガ再保險ニ關スル事項ニ付農業保險組合聯合會ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ道府縣農業再保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

聯合會ガ再保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ農業再保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス
前二項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

農業再保險審査會及道府縣農業再保險審査會ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十八條 第三條、第五條、第七條乃至第十二條、第十三條第一項、第十四條、第三十七條乃至第四十八條、第五十七條乃至第五十九條、第六十一條乃至第六十三條、第六十四條第一項第二項及第六十五條、民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第五十九條、第六十條、第六十一條第一項、第

六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條及第七十三條乃至第八十三條、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三十七條ノ二、第二百二十二條、第二百三十六條乃至第三百三十八條、第四百二十二條乃至第五百一十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十七條、第五百七十五條、第五百七十六條、第五百七十八條及第九十五條ノ二並ニ産業組合法第二十三條、第二十七條、第二十八條、第三十一條、第三十三條、第三十四條ノ二第二項、第三十六條、第三十九條、第六十五條、第六十六條第一項、第六十七條、第七十條、第七十四條ノ二第一項、第九十六條、第九十七條及第四百條ノ規定ハ農業保險組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十五條第三項、第四十八條第一項及第七十七條ノ規定中一週間トアルハ三週間トシ産業組合法第二十八條（同法第三十九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）中四分ノ三トアルハ三分ノ二トシ同法第三十九條及第六十五條中地方長官トアルハ行政官廳トシ第五十九條及第六十五條並ニ産業組合法第六十五條ノ規定中組合ノ合併ニ關スル規定ヲ除ク
商法第三百九十一條ノ規定ハ農業保險組合聯合會ノ行フ農業再保險ニ之ヲ準用ス

第二十八條第二項第三項及第三十四條並ニ商法第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條及第四百十七條ノ規定

ハ農業再保險ニ之ヲ準用ス

第三章 罰則

第七十九條 左ノ場合ニ於テハ農業保險組合又ハ農業保險組合聯合會ノ理事、監事又ハ清算人ヲ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケザルキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ
二 本法ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
三 行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
四 本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ其ノ他行政官廳ノ命令若ハ處分ニ從ハザルトキ

五 本法ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ
六 組合又ハ聯合會ノ目的ニ非ザル事業ヲ爲シタルトキ
七 本法ニ依リ事務所ニ備置クベキ書類ヲ備ヘズ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
八 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ
九 第四十七條（第七十八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第五十條及第六十條ノ規定ニ違反シタルトキ

十 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

十一 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ處分ヲ爲シタルトキ
十二 法令又ハ定款ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シ又ハ保險金額ヲ削減シタルトキ

第八十條 第五條第二項（第七十八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス
第八十一條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（國務大臣伯爵有馬頼寧君演壇ニ登ル）

○國務大臣（伯爵有馬頼寧君） 只今議題ト

ナツテ居リマスル農業保險法案ニ付テ御説明ヲ致シタイト思ヒマス、申ス迄モナク農業ハ自然界ノ影響ヲ受ケルコトガ極メテ多イ産業デアリマシテ、特ニ我々國ノ農業ハ氣象上、地理上ノ關係カラ、農作物ノ災害其ノ他農業上ノ災害ハ、年々全國ニ亙ッテ頻發シ、其ノ損害額モ頗ル多額ニ上ッテ居ル實情デアリマス、之ヲ過去ノ統計カラ見マスト、農作物ノ災害ノミニ付テ見マシテモ、年々ノ被害面積ハ百萬町歩、其ノ損害額ハ一億圓餘ニ達シテ居ルノデアリマス、然ルニ我々國ノ農業經營ハ其ノ規模極メテ小サ

ク、一戸當リ耕作面積ハ一町步餘ニ過ぎズ、從ッテ農家ノ經濟モ餘裕少ク、彈力性ヲ缺イテ居ルノデアリマスノデ、一タビ災害ガ發生致シマシタ場合、其ノ損失ニ堪ヘルコトハ頗ル困難デアリマシテ、直接農家ノ經濟、農家ノ生活ニ非常ナ脅威ヲ與フルコトナル譯デアリマス、即チ農家ノ收入源泉ガ失ハル、爲、翌年ノ農業生産ニ支障ヲ來シ、農業生産力ニ影響スル所大ナルモノガアリ、又農家ノ負債ヲ増加セシムルコトモナルノデアリマス、政府ト致シマシテモ從來災害ガ廣範圍ニ亙リ、又ハ被害程度ガ著シイ場合ニハ、其ノ都度各種ノ救済ヲ行ッテ來テハ居リマスガ、年々之ヲ臨機應急ノ措置ノミニ委ネマスコトハ、何ト申シテモ十分ト言ハネバナラスノデアリマシテ、現下ノ農村事情ニ鑑ミ、農業災害ニ對シテハ之ガ救済施設ニ付制度化シテ置キマスコトガ極メテ緊要ト考ヘラル、ノデアリマシテ、此ノ爲ニ今般農業保險制度ヲ樹立シテ、一定災害ニ因ル損害ノ補填輕減ヲ圖リ、農業經營、農家經濟ヲ安定セシメ、以テ農業生産力ノ維持増進ト、農村ノ經濟更生トニ資セムトスルモノデアリマス、本案ノ要旨ハ、農業保險ノ元受保險事業ハ、相互組合タル農業保險組合ヲシテ之ヲ行ハシムルコトトシ、組合ハ市町村農會及地方ノ實情ニ依リ、養蠶實行組合ヲ其ノ組合員ト致シマシテ、組合員タル是等團體ノ行フ共濟事業ニ基ク共濟責任ニ付テ保險ヲ行ヒ、農家ハ共濟事業ヲ通ジテ保險ノ利益ヲ享受スルコトト致

シタルデアリマス、更ニ農業保險ノ再保險事業ハ、農業保險組合ノ組織スル農業保險組合聯合會ヲシテ之ヲ行ハシメ、聯合會ノ行フ再保險ニ對シマシテハ、政府ガ更ニ再保險事業ヲ行フコトト致シテ居ルノデアリマス、以上ハ本案提出ノ理由ノ大體デアリマスガ、何卒御審議ノ上、御協賛アラムコトヲ希望スル次第デアリマス
○子爵戸澤正己君 只今上程セラレマシタ農業保險法案ハ、重要ナル法案デアリマスルガ故ニ、此ノ特別委員ノ數ヲ十八名トシ、其ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス
○子爵秋田重季君 賛成
○議長（伯爵松平賴壽君） 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナシト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス
（「石橋書記官朗讀」）

農業保險法案特別委員

侯爵淺野 長之君	侯爵中御門經恭君
伯爵堀田 正恒君	子爵保科 正昭君
子爵土岐 章君	子爵三島 通陽君
松村眞一郎君	男爵木多 政樹君
男爵關 義壽君	男爵山根 健男君
次田大三郎君	今井 五介君
高島 順作君	三橋 彌君
佐々木八十八君	小林嘉平治君
大藪 守治君	山上 岩二君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第三、東洋拓殖株式會社法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長肝付男爵

東洋拓殖株式會社法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十三年三月二十二日

委員長 男爵肝付 兼英

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(男爵肝付兼英君演壇ニ登ル)

○男爵肝付兼英君 只今上程致サレマシク東洋拓殖株式會社法中改正法律案ノ特別委員ノ審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、特別委員會ハ前後二回開カレ、慎重ニ審議ヲ致シマシタ、本法案ノ要旨ハ東洋拓殖株式會社ノ經營ノ進展ニ伴ヒマシテ、同社ニ副總裁並ニ參與理事ヲ設置致シマシテ、東洋拓殖債券ノ發行ノ限度ヲ拂込資本金ノ十倍ヨリ十五倍迄ニ擴張セムトスルノデアリマシテ、其ノ他營業地域ニ關シマスル規定等ニ付テ若干ノ修正削除ヲ爲サムトスルノデゴザイマスルガ、本法案ニハ、衆議院ニ於キマシテ次ノヤウナ附帶決議ガ附セラレタノデゴザイマス、即チ「東洋拓殖株式會社ノ總裁及副總裁ハ監督官廳ノ官吏ヨリ任命スルコトヲ避クヘシ」ト云フノデゴザイマス、次ニ本法案ニ關シマスル質疑應答ノ要點ニ付テ概略ヲ申上ゲマスルト、先ヅ第一條ノ營業地域ニ關スル現行規定「朝鮮及

外國」トゴザイマスルノヲ、「朝鮮及内地以外ノ地域」ト改正致サレマスル結果ハ、會社ノ營業地域ガ臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニモ擴張セラレベキモノト考ヘラレルガ、斯クノ如ク改正ヲ爲サルノハ如何ナル御趣旨ニ基クモノデアルカトノ御質問ニ對シマシテハ、關東州及南洋群島ニ付キマシテハ、既ニ營業地域トシテノ認可済デゴザイマシテ、樺太ニ付キマシテハ、同地ノ實情ニ鑑ミマシテ、之ガ進出ニ付キマシテハ十分考慮致シテ見タイ考デアル、又臺灣ニ付キマシテ先年臺灣拓殖株式會社ガ設立セラレマシタノデ、強ヒテ東洋拓殖株式會社ヲシテ進出セシムル必要ハナイ旨ノ御答辯ガゴザイマシタ、次ニ東洋拓殖株式會社ノ今後主トシテ進展スベキ地域ハ如何デアルカ、又北支那開發株式會社等ガ設立セラル、趣デアルガ、是等ノ新設會社トノ關係ハ如何デアルカトノ御質問ニ對シマシテハ、東洋拓殖株式會社ハ今後朝鮮ヲ主體トシ、滿洲、北支那ノ方面ニ營業ノ主力ヲ注グ方針デゴザイマシテ、北支那ニ於キマシテハ、北支那開發株式會社ヲ中心トスル國策ノ線ニ副ヒマシテ、各種拓殖事業ノ進展ニ寄與セムトスル旨ノ御答辯ガゴザイマシタ、次ニ東洋拓殖株式會社ヲシテ未拂込株金ヲ徵收セシムルノ意思ガナイカトノ御質問ニ對シマシテハ、東洋拓殖株式會社ノ業績ハ最近躍進的ノ發展ヲ遂ゲマシテ、將來更ニ良好ナル決算ヲ爲シ得ルコトト豫想セラレマスルノデ、遠カラズ拂込ノ徵收ヲモ行ヒ得ルコトト考

ヘマスルガ、同社ノ現行配當率ハ年五分デゴザイマシテ、一般金融界ノ情勢カラ見マシテ、此ノ程度ノ配當率ヲ以テシテハ此ノ際直チニ拂込ヲ徵收スルコトハ相當困難デアラウト認メラレマスルノデ、先ヅ以テ社債ノ發行限度ヲ擴張致シマシテ、同社資金ノ圓滑ナル運用ヲ期シタイトノ説明ガゴザイマシタ、又東洋拓殖株式會社ハ、過去ニ於テ不良ナル貸付ガアツタヤウニ聞及ンデ居リマスルガ、政府ハ今後如何ナル監督方針ヲ執ラレル御考デアルカトノ質問ニ對シマシテハ、拓殖大臣ヨリ同社ノ不良貸付ハ殆ド整理ヲサレマシタガ、今後トモ十分嚴重ニ監督スル旨ノ御答辯ガゴザイマシタ、其ノ他政府委員ヨリハ、會社ノ營業狀態、投資ノ現狀等ニ付キマシテ、詳細ニ數字ヲ舉ゲテノ御説明ガゴザイマシタガ、是等ノ點ハ省略ヲ致シマス、最後ニ副總裁ノ任免ニ關聯致シマシテ衆議院ノ附帶決議モアリ、又貴族院ノ本會議ニ於キマスル恩給金庫法案決議ノ際ノ意見モゴザイマスルシ、政府ハ東洋拓殖株式會社ノ總裁、副總裁及重役ノ任免ニ關シマシテハ、十分本會議ニ於ケル前記ノ決議ヲ尊重セラル、ヤ否ヤト云フ御質問ニ對シマシテハ、拓殖大臣ハ十分尊重マル旨ノ御言明ガゴザイマシテ、質疑ヲ打ち切り、採決ノ結果、全會一致原案ヲ可決セラレタノデゴザイマス、以上簡單デハゴザイマスルガ、御報告ヲ申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通

リデ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、職業
紹介法改正法律案、政府提出、衆議院送
付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長岩倉
公爵

職業紹介法改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十三年三月二十二日

委員長 公爵岩倉 具榮
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔公爵岩倉具榮君演壇ニ登ル〕

○公爵岩倉具榮君 只今議題トナリマシタ
職業紹介法改正法律案ノ、特別委員會ニ於
ケル審議ノ經過並ニ其ノ結果ヲ御報告申上
ゲマス、本案ニ付キマシテハ去ル三月十八
日ヨリ三回ニ互リマシテ特別委員會ヲ開キ、
審査致シタノデゴザイマス、本法律案ハ勞
務ノ適正ナル配置ヲ圖ル爲、政府ニ於テ職
業紹介事業ヲ管掌ヲ致シマスト共ニ、原則
的ニ民間ニ於ケル職業紹介事業ヲ禁止シ、
且職業紹介類似ノ事業等ヲ規制セムトスル
モノデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ
各委員ヨリ立法ノ趣旨並ニ運用ノ方針等ニ
關シマシテ種々質疑ガアリマシタ外、逐條
的ニ仔細ニ質疑應答ガ行ハレタノデアリマ
ス、以下簡單ニ主ナル事項ニ付テ申上ゲマ

スレバ、先ツ第一ニ、國營職業紹介所ノ取
扱範圍ニ付テ、國營紹介所ハ産業ニ對スル
勞務者ノ紹介トカ、退營者ノ就職斡旋トカ
云フヤウナ大量ノモノヲ取扱フベキデ、各
家庭ノ使用スル戸内使用人ノ如キハ、民間
ノ業者ニ委セルノガ適當デハナイカ、是等
ノモノハ第十五條ニ於テ第二條ノ適用カラ
除外スル職業ノ中ニ含メテハドウカト云フ
ヤウナ質問ガアツクノデアリマスガ、之ニ對
シテ政府ハ、戸内使用人等ハ現在市町村ノ
職業紹介所デ取扱テ居ルノデアリマシテ、
之ヲ原則的ニ民間ニ委ネルコトハ適當デナ
イ、第十五條ニ於テ除外セムトスルモノハ、
現行法ニ於テモ除外サレテ居ル藝妓、酌婦
及之ニ類スル者ニ限ル方針デアルトノ答辯
デアリマシタ、第二ニ、職業紹介網ハアド
程度ニ分布セシムルカト云フ御尋ガアツタ
ノデアリマスルガ、政府ハ全國樞要ノ地ニ
四百箇所ノ職業紹介所ヲ設置スルノデア
テ、大體人口二十萬人ニ付一箇所ノ割合ニ
ナルノデアアルガ、地方民ニ不便ヲ與ヘナイ
ヤウニ、必要ニ應ジテ出張所ヲ設ケル考デ
アルト云フ答辯デアリマシタ、第三ニ、職
業紹介所ニ關スル經費ヲ地方費ニ負擔セシ
メル場合ノ負擔割合、及ビ之ヲ市町村ニ分
擔セシムル場合ノ負擔割合等ニ付テ質問ガ
アツクノデアリマスガ、政府ハ職業紹介所ニ
關スル經費ニ付テハ、大體三分ノ一程度ノ
モノヲ道府縣ニ負擔セシメ、道府縣ガ之ヲ
市町村ニ分擔セシムトスル時ハ、其ノ分
擔ヲ命ズル市町村ノ範圍並ニ負擔額ニ付テ、

主務大臣ノ認可ヲ受ケシメル考デアルトノ答
辯ガアツクノデアリマス、第四ニ、第十五條ニ於
テ、藝妓、酌婦等ノ職業紹介ハ本法カラ除外
サレテ居ルガ、是等ニ對シテハ別ニ保護ノ
途ヲ講ズル考ガアルカト云フ質問ガアツクノ
デアリマスガ、政府ハ之ニ對シテ現在廳府
縣令デ定メラレテ居ル人事周旋業取締規則
ヲ改正スル等、之ガ保護ニ付テ十分考慮スル
ト云フ御答辯ガアツクノデアリマス、第五ニ
本法ノ實施ニ依リ民間ノ職業紹介事業ヲ特
ニ壓迫シテ、之ヲ廢止セシムルノデハナイ
カト云フ質問ガアツクノデアリマスガ、政府
ハ營利職業紹介事業ニ付テハ從來通りノ態
度ヲ以テ臨ムノデアツテ、特ニ壓迫ヲ加ヘテ
廢止セシメル考ハナイト云フ御答辯デアリ
マシタ、第六ニ、職業紹介所ヲ國營トシタ
結果、其ノ取扱ガ所謂御役所式ニナツテ、民
衆ノ利便ニ即シナイヤウニナツテハ困ルガ、
之ニ付テ特別ニ考慮ヲ拂ツテ居ルカト云フ
意味ノ質問ガアツクノデアリマスガ、之ニ對
シテ政府ハ、之ガ取扱ニ當リ職員ノ養成、
訓練ニ十分注意シテ、遺憾ナキヲ期スル考
デアルト云フ答辯デアリマシタ、次イデ質
疑ヲ終ツテ討論ニ入リマシタガ、二三ノ委員
カラ、政府ガ勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ルコト
ヲ建前トシテ、職業紹介所ノ國營ニ進マレ
ルニ付テハ、其ノ運用ヲ過マタヌヤウ、職
員ノ養成、訓練ニ十分留意サレタイト云フ
希望ヲ述べテ、原案ニ賛成ノ旨ヲ述べラレ
マシタ、次イデ採決致シマシタ結果、滿場
一致デ可決致シタ次第デアリマス、以上ヲ

以テ御報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二
讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題

ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通り
デ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

ス

飼料配給統制法案

昭和十三年三月二十一日

〔子爵增山正興君演壇ニ登ル〕

簡單ニ御報告申上ゲマス、先ヅ第一ニ、

ヤウニシタイト云フコトデゴザリマシタ、
第四ニ、此ノ會社ガ獨占ノ專賣ノ性質ノ事
業ヲ行フコトニ依ツテ、自然獨占價格ヲ貪ル
弊害ニ陥ラスヤウニスルコトト、法律規則
ハ如何ニ完備シマシテモ實績ハ其ノ運用如
何ニ依ルノデアル、殊ニ會社ノ人的要素タ
ル中心人物、會社要路ノ幹部等ノ選任ハ、
重大ノ關係ガアルノデアルカラ、之ガ監督
等ニ對スル政府ノ所見如何ト云フ御質問ニ
對シマシテハ、統制會社ニ對スル監督ハ最
モ嚴重ニ行ヒマシテ、價格ニ於テモ、人ニ
付テモ、十分ナル注意ヲ致シテ法ノ運用竝
會社ノ運營等ニ付テ御期待ニ背カヌヤウニ
スルト云フ御答辯デゴザリマシタ、最後ニ
滿洲國ノ飼料供給力ハ日本ニ對シテ十分デ
アルノカ、又内地ノ増産ハ見込ガアルノカ
ト云フ御質問ニ對シマシテハ、今年度ハ滿
洲國ノ供給ダケデハ十分トハ言ヘナイケレ
ドモ、可ナリノ供給ガ期待出來ルシ、又内
地ノ増産ニ付キマシテハ豫算ニモ計上シテ
アリマスルガ、尙十分ノ供給ヲ確保スル爲
ニハ、將來モ相當多量ノ輸入ヲ必要トスル
ト云フ答辯デゴザイマシタ、此ノ外色々質
疑應答ガゴザイマシタガ、詳細ノコトハ速
記録ニテ御承知ヲ願ヒマス、斯クシテ討論
ニ入りマシタガ、別ニ御意見モナク、採決
ノ結果全會一致ヲ以チマシテ原案通り可決
致サシマシタ、御報告ヲ終リマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 別ニ御發言モナ
ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二
議會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○子爵西大路吉光君直

○子爵植村家治君 贊成

議ニ御異議ハゴザイマセ

メ
マ
ス

○議長（伯爵松平頼壽君）

テ御異議ハゴザイマセヌ

○議長（伯爵松平賴壽君）

會ヲ開カレムコトヲ希望

○議長（伯爵松平賴壽君）

「異議ナシ」ト呼フ者

メマス

リデ御異議ハゴザイマセ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第六、支那
事變ニ際シ召集中ノ者ノ選舉權及被選舉權
等ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會
ノ續、委員長報告、委員長大森男爵

支那事變ニ際シ召集中ノ者ノ選舉權及
被選舉權等ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十三年三月二十二日

委員長 男爵大森 佳一

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(男爵大森佳一君演壇ニ登ル)

○男爵大森佳一君 只今上程ニナッテ居リ
マス支那事變ニ際シ召集中ノ者ノ選舉權及
被選舉權等ニ關スル法律案、御付託ニ依リ
マシテ先日來委員會デ十分ノ審議ヲ遂ゲマ
シタ上デ、昨日本案ハ原案ノ通り可決ヲ致
シマスルコトニ相成リマシタ、茲ニ其ノ要
領ダケヲ御報告ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
此ノ法案ハ元衆議院ノ提出送付ニ係ハルモ
ノデアリマスルガ故、此ノ法案ノ要旨ニ付
キマシテ多少ノ御説明ヲ申上グル必要ガア
リマス、此ノ法案ハ僅カニ簡條デゴザイマ
ス、二ツノ條文ダケニナッテ居リマス、題
目ガ長イ代リニ條文ハ非常ニ短カイノデア
リマス、即チ支那事變デ召集サレタ爲ニ、
召集ヲ解除サレマシテモ其ノ後迄モ一般ノ

選舉權ノ行使ガ出來ナイコトニナリ、或ハ
又議員デアッタ議員資格ヲモソレガ爲ニ失ッ
テシマフ者等ノ爲ニ、法律上ノ救済ヲスル
ト云フノガ此ノ法案ノ目的デアリマシテ、
臨時的ノ立法デアアルノデアリマス、少シ詳
シク申上ゲマスルト、衆議院選舉法、府縣
制、町村制其ノ他地方議會ノ選舉法ニハ、
御承知ノ通り戰時事變ノ際召集中ノ者ハ選
舉權被選舉權ヲ失フト云フ規定ガゴザイマ
ス、是ハ御承知ノ通りデアリマス、從ッテ
選舉權ヲ有シタリシ應召軍人等ガ、多數選
舉人名簿ニ登錄セラレナイ事實ヲ生ズルノ
デアリマス、サウシテ此ノ登錄ガナイ爲ニ
後日召集解除トナリマシテ、郷里ニ歸ッテ來
タ後デモ、選舉權ノ行使ガ出來ナイト云フ
結果ニナルコトガアリマスル、此ノ事實ガ
一ツ、更ニ又地方議會ノ議員デ、縣會議員
トカ、市町村會議員トカ、地方議會ノ議員
デ召集ヲ受ケテ、サウシテ出征ヲシ、後召
集ヲ解除サレテ、凱旋歸國ヲ致シマシテ
モ、元ノ議員タル資格ヲ回復スルコトガ出
來ナイト云フ事實ガ生ジマス、此ノ事實ガ
一ツ、此ノ二ツノ場合ヲ考ヘマスルニ、是
等ノ人々ガ身命ヲ國家ニ捧ゲテ、偶、凱旋故
國ニ歸ッテ來テ見マスレバ、與ヘラレテ居ッ
タ選舉權、被選舉權ノ、詰リ公民權ノ行使
ヲ奪ハレテ居ルト云フ始末ニナルノデアリ
マス、詰リソコニハ臣民トシテ忠誠ヲ效ス
ノ道ト、公民トシテ奉公ノ務ヲ果スノ道ト、
兩道如何ニモチグハグナ不調和ナ關係ヲ來
スノデアリマス、不合理ヲ招クノデゴザイ

マス、而モ此ノ種ノ事例ト云フモノハ、此ノ
度ノ事變ニ於キマシテ非常ニ多數ニ上ルノ
デアリマス、選舉權ニ於キマシテ、何十萬
ト數フベキ數字ニ上ルカト存ジマスルシ、
ソレカラ議員數ニ於キマシテ、二千人以上
ノ員數ヲ數ヘルヤウナコトデアリマシテ、
何トカ此ノ種ノ缺陷、不合理ナ事實ヲ匡正
スルコトガ甚ダ必要デアアルコトト感ゼラレ
ル次第デアリマス、ソコデ此ノ種ノ選舉人
ノ爲ニハ、臨時補充的ノ選舉人名簿ヲ作ッ
テ、選舉權ノ行使ヲ是等ノ人ニ得セシムル
ト云フコトガ本案ノ第一條デアリマス、ソ
レカラ更ニ應召シタ議員ノ爲ニハ、召集解
除ガアリマスレバ元ノ議員ノ資格ヲ法律上
回復スルコト云フコトニスルノガ、此ノ法案
ノ第二條デアリマス、尤モ其ノ結果議員ノ
定數ヲ超エルコトガアリマスル、超エマシ
テモ當該任期中ハ其ノ員數ヲ以テ定員トス
ル、但シ偶、之ニ關員ヲ生ジタナラバ、本來
ノ定員數ニ減少スル迄ハ補充ヲセズニ置
ク、此ノ二ツノ點ハ此ノ法案ノ骨子デアリ
マス、詰リ應召出征シテ軍務ニ服スルト共
ニ、故國ニ歸レバ即チ銃後ノ護トシテ公民
ノ權利義務ヲ果スニ決シテ遺憾ナカラシム
ルヤウニスルト云フ趣旨ニ出デタ次第デア
リマス、是ガ此ノ法案ノ大體ノ説明デゴザイ
マス、次ニ此ノ委員會ニ於キマシテ、各委員ガ
政府ニ對スル質問應答ヲ致シマシタコトニ依ッ
テ、判明シタル政府ノ此ノ法案ニ對スル意向、
所見等ヲ御披露致シタイト思ヒマス、此ノ法
案ニ對シテ政府ノ意向ハ如何デアアルコト云フ

質問ニ對シマシテハ、政府ハ答ヘテ、既ニ從來
此ノ種ノ立法ノ必要ガアルコトヲ感ジテ居
ル、サウシテ世間デモ其ノ必要ヲ叫バレテ
居ッテ、ソコニ相當ノ理由ガアルコトモ考ヘ
ラレテ居ル、何トカ處置ヲ講ズルノ必要ガ
アルコトハ實ハ看取シテ居ル、此ノ法案ガ
兩院ヲ通過シタナラバ、政府トシテハ十分
其ノ趣旨ヲ尊重シ、實現スルヤウニ努メテ
善處スル積リデアルト云フコトヲ言明サレ
テ居リマス、次ニ然ラバ政府ハ何故ニ自ラ
進ンデ發案立法スルノ態度ニ出ナカッタカ、
且又此ノ法案ハ、基本ノ法規、府縣制トカ
衆議院選舉法トカ、町村制トカ、基本ノ法
規ニ抵觸スルヤウナコトハナイカト云フコ
ト、更ニ又此ノ事案ニ付テ基本法規ヲ改正
スル意圖ハナイカ、斯ウ云フ是等ノ質問ニ
對シマシテ、政府ノ答辯、政府ハ實ハ基本
法規ニ關スルコトデアアルカラシテ、此ノ問
題ニ付テハ慎重ニ考慮研究ヲ遂ゲツ、アッ
タノデアアル、其ノ間ニ偶、斯クノ如キ便宜上
應急のナ法案ヲ提出ヲ見タ次第デアッテ、他
ニ何等ノ事情ハナイ、今日此ノ臨時的ノ提
案ヲ見タ以上ハ、政府トシテハ此ノ法案ガ
勿論基本法規ノ精神ヲ妨ゲザルモノトシテ
之ニ同意ヲ表シ、善處セムトスル次第デア
ルト云フ意味、竝ニ基本法規ノ根本的改正
ハ之ヲ試ミル積リデアアル、併シナガラ十分
ノ考究調査ヲ要スルコトト信ズルト云フ答
辯デゴザイマス、次ニ委員會ニ於ケル各委
員ガ、討論上ノ意見トシテ述べラレタ要旨
ヲ簡單ニ御紹介申上ゲマス、何レモ此ノ法

案ニ對シマシテ賛成ノ意見ヲ表示セラレテ居ルノデアリマス、特ニ今回ノ事變ニ於ケル此ノ種特殊性ノ、特異性ヲ持ツ所ノ事案トシテ、本法案ノ如キハ假令ソレガ臨時の立法デアルトハ云ヘ、銃後ニ於ケル自治公民ノ權能ヲ完備セシムル上ニ於テ、誠ニ必要ナル立法デアラウト思フト云フ意見ガ出テ居リマス、唯希望トシテハ、將來基本法規ノ中ニ此ノ種ノ事案ヲ織込シテ、取入レテ適正ナル改正ヲ施スコトガ肝要デアルト云フコトヲ希望サレ、尙又本法案ノ適用ノ範圍、執行若シクハ運用等ニ關シマシテハ、極メテ周到ノ用意ヲ施スコトヲ必要トスル、關係者ノ數モ隨分夥シイモノデアル、且又召集解除ト云フ如キコトモ、將來隨時頻繁ニ行ハル、デアラウ、長期抗戰ノ間ニハ隨分複雑ナ變化ヲ生ズルデアラウ、從ツテ事務的ニハ相當ノ手數ヲ要スルデアラウガ、本法ノ立法ノ精神ニ顧ミテ、其ノ適用竝ニ運用ガ周到ニシテ深切ナルベキヤウニ致シタイ政府モ此ノ點ニ付テハ勿論十分ノ考慮ヲ拂フト云フコトデアアルカシテ、之ヲ信賴シテ此ノ法案ニハ賛成スル積リデアルト云フ意味ノ意見ヲ開陳セラレテ居ルノデアリマス、採決ノ結果原案ノ通り可決致スベキモノトシテ、決定ヲ致シタ次第デアリマシテ、此ノ段御報告ヲ申上ゲマシタ次第デアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二三讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ本案全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二三讀會ノ決議通りデ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 次會ノ議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時七分散會